

草の根・人間の安全保障無償資金協力2案件(教育分野・民生分野)署名式

2022年1月26日、有吉大使は、草の根・人間の安全保障無償資金協カスキームによる協カ案件2件(教育分野・民生分野)について、カルドナ教育副大臣出席の下、被供与団体代表者とそれぞれ署名を実施しました。2案件における支援総額は24万66,320米ドルです。

今回署名された「アウアチャパン市リカルド・トリゲロス・デ・レオン初等学校整備計画」では、4常設教室の建設および7教室改修を実施し、同校に通学・勤務する564人の児童・生徒及び教員20人にとって安全で快適な学習環境を実現します。

また、「ラ・レイナ市サンホセ・エル・カラオ村ポトレリョス地区及びメタヤテ地区飲料水供給計画」では、貯水タンクの建設、給水管の設置、配水管網等の上水道設備にかかる整備を行い、同2地区の住民248世帯(1240人)の安全な水へ恒久的にアクセスできるようにし、同地区における衛生・生活環境の改善を目指します。

有吉大使は挨拶の中で、日本は人間の安全保障の理念を踏まえた教育分野及び民生分野における支援を重視しており、今日、この2つのプロジェクトを実施することでエルサルバドル人の生活の質の向上に日本が貢献できることは誠に喜ばしく、日本及び日本国民の誇りとするところであると述べた上で、同案件を実現するために尽力した被供与団体、関係市役所および教育省に祝意を表しました。



(写真中上:左からカルドナ教育副大臣、有吉大使)